

DMATと連携した大規模災害訓練を行います

災害拠点病院である当院では、大規模災害が発生したことを想定し、患者の避難誘導や安全確認、被害等の情報収集、被災者の受け入れ等の訓練を毎年行っております。

今年の訓練は約200名の職員が参加する予定ですが、特に今年は通常の訓練に加えて、中国地区DMAT実働訓練と協働し、連携対応訓練も行います。

日程は下記のとおりです。ご多忙中とは存じますが、ご取材方よろしくお願いいたします。

- | | |
|-------|--|
| 【日 時】 | 令和元年 10月26日(土) 10:20～13:30 (予定) |
| 【場 所】 | 総合病院 山口赤十字病院 |
| 【内 容】 | 山口県中部の大原湖断層系を震源としてM7.0の地震が発生したと想定し、災害訓練を行います。(※DMAT実働訓練の被災想定に準じます。)
連携対応訓練：DMATの受け入れ、患者の広域搬送等 |
| 【参 考】 | 中国地方DMAT実働訓練は、令和元年10月25日(金)～10月27日(日)に実施 |

【お願い】 ご取材いただける場合は、事前にご連絡いただくと助かります。
当日は10：30までに正面玄関前(※工事中)にお越しください。担当者がご案内いたします。



前回の訓練の様子

【DMAT (ディーマット) とは】

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって「DMAT」と呼ばれています。医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームのことをいいます。

（出典：厚生労働省DMAT事務局ホームページ）



実際の活動の様子